

栗田工業株式会社 経営説明会

(証券コード: 6370)

- 1 CK-17(Competitive Kurita 2017)計画最終年度の方針
- 2 事業組織変革
- 3 海外事業基盤の拡充
- 4 提供する価値のレベルアップ
- 5 資本効率の向上
- 6 超純水供給事業の売上高計画
- 7 超純水供給事業の主な案件
- 8 CSR活動の強化

基本方針

顧客に最良のソリューションを提供することにより
顧客親密性を高める

IT技術の
活用による
業務プロセスの
変革

成長分野への
集中投資と
事業の再構築

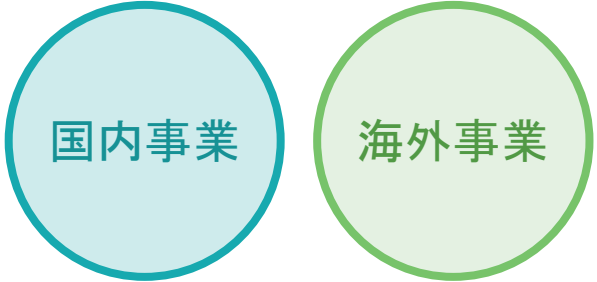
CSR活動の
強化による
リスクの低減と
競争優位の獲得

2. 事業組織変革

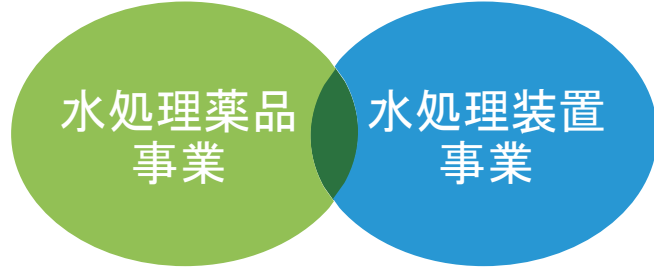
～2017年3月

2017年4月～

水処理薬品事業



海外事業



水処理装置事業

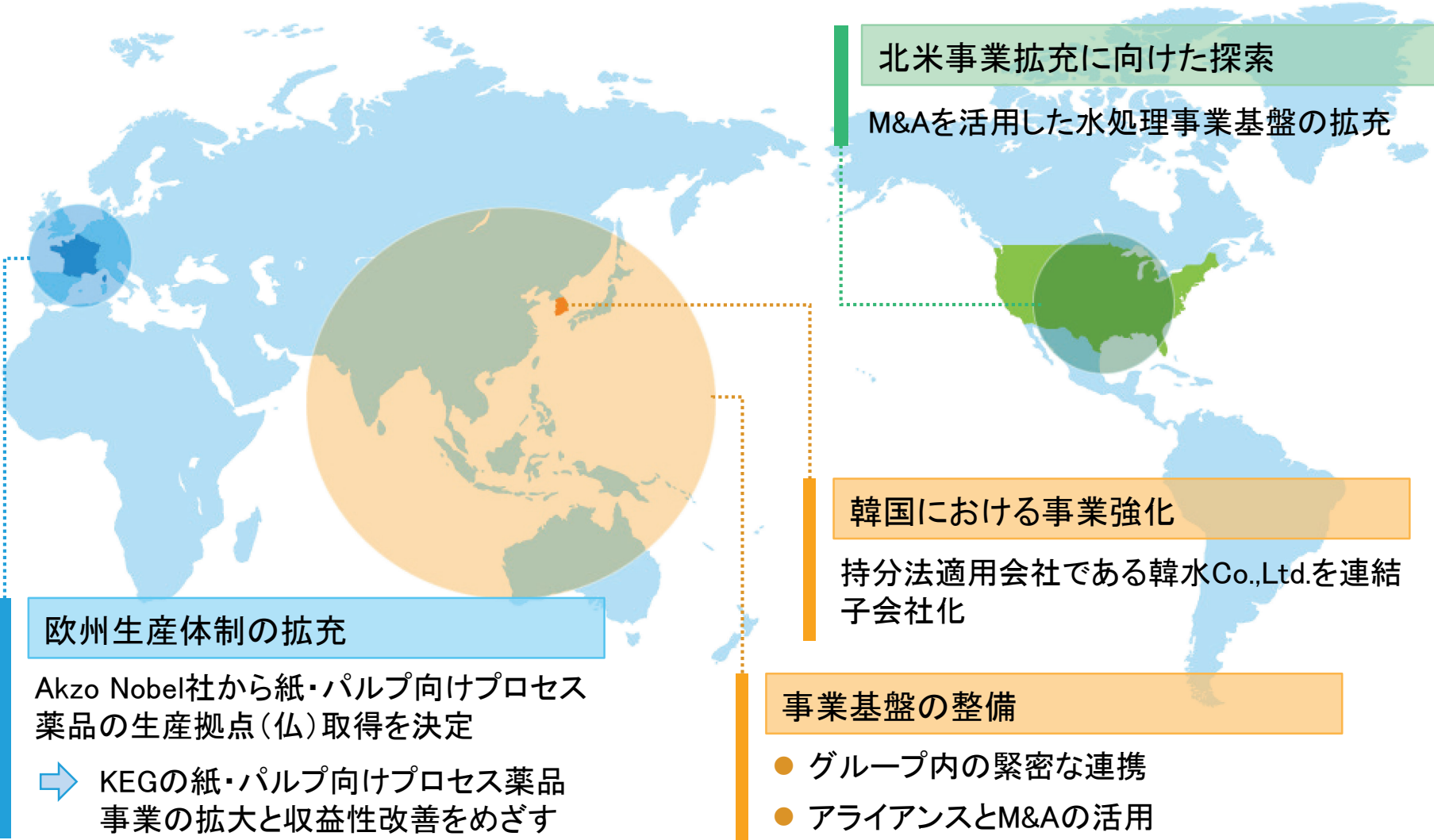


国内事業



* 2017年10月からは、評価制度も一部変更。

3. 海外事業基盤の拡充



北米事業拡充に向けた探索

M&Aを活用した水処理事業基盤の拡充

韓国における事業強化

持分法適用会社である韓水Co.,Ltd.を連結子会社化

事業基盤の整備

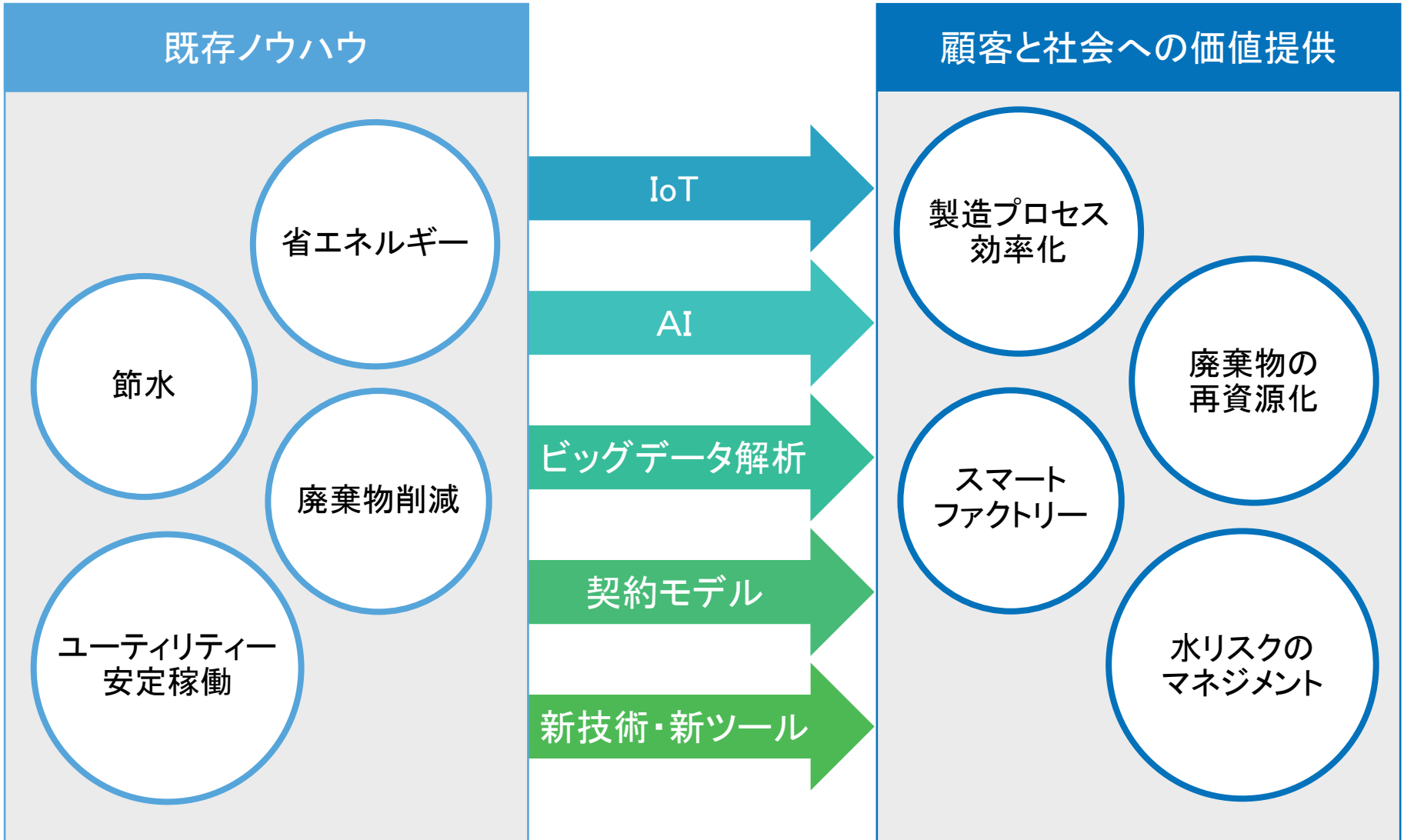
- グループ内の緊密な連携
- アライアンスとM&Aの活用

欧州生産体制の拡充

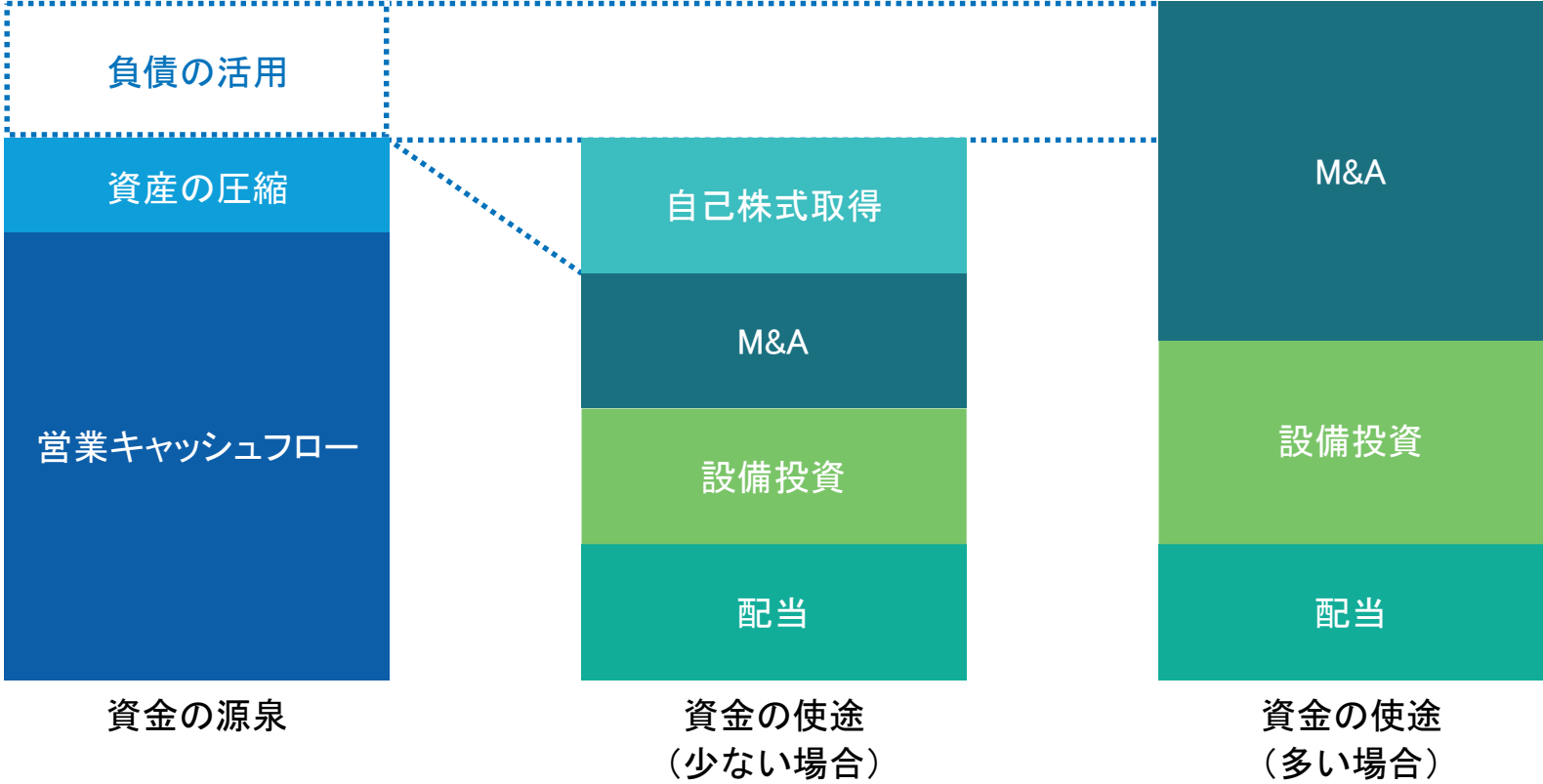
Akzo Nobel社から紙・パルプ向けプロセス薬品の生産拠点(仏)取得を決定

- ➡ KEGの紙・パルプ向けプロセス薬品事業の拡大と収益性改善をめざす

4. 提供する価値のレベルアップ

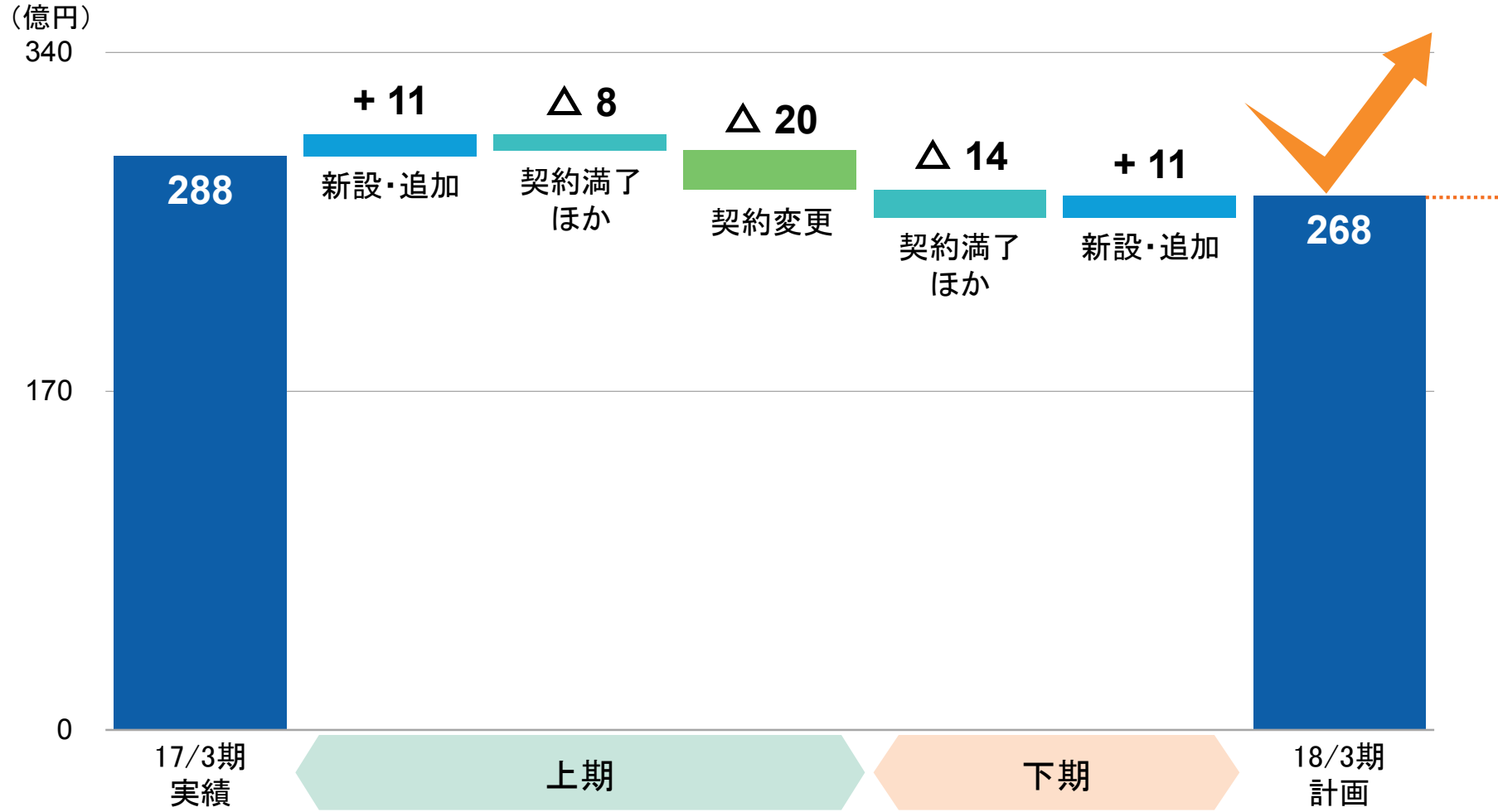


5. 資本効率の向上

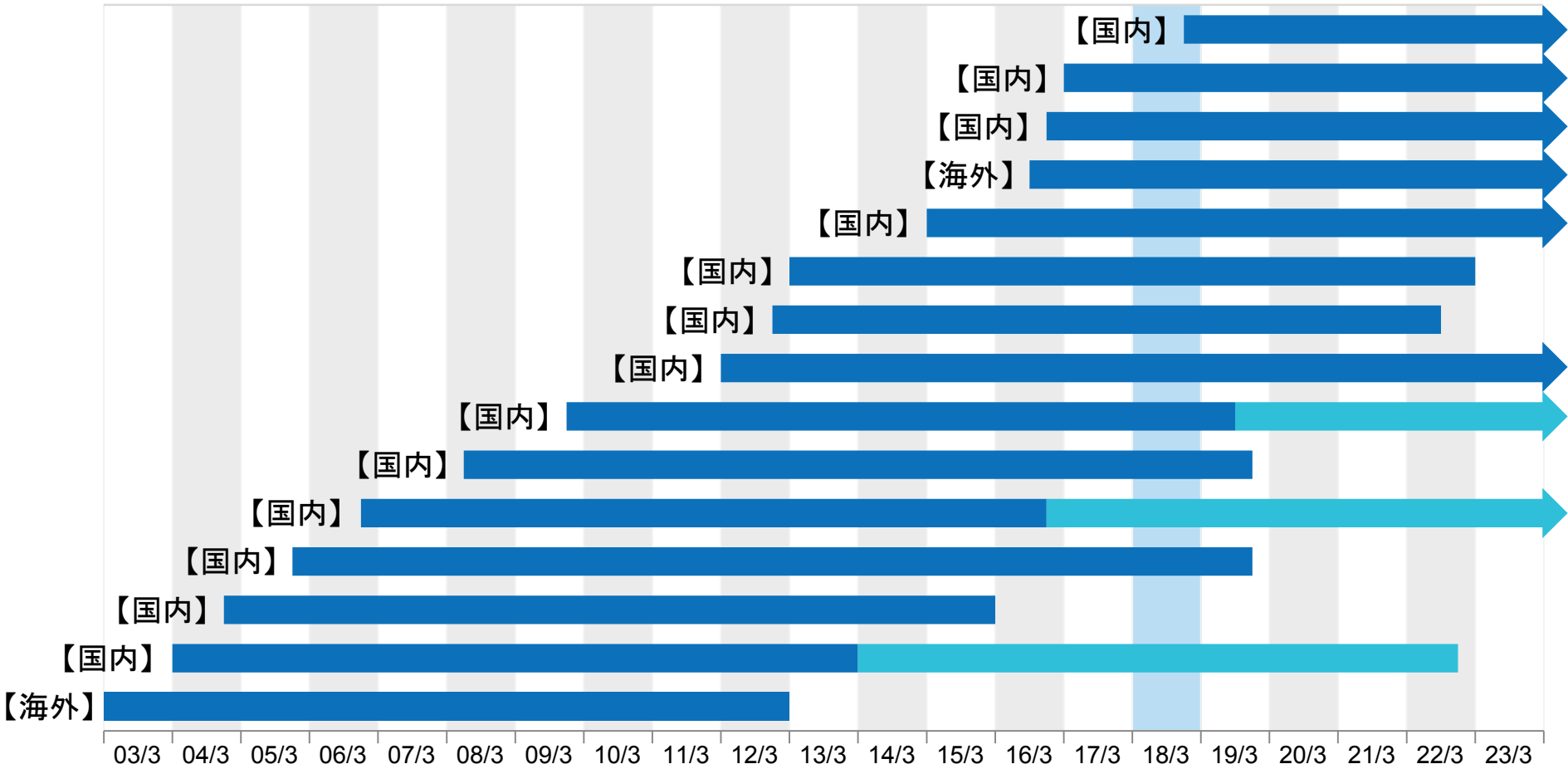


- 有望事業への資金の積極投資と資産圧縮の推進。
- 資本効率指標の導入を検討。

6. 超純水供給事業の売上高計画



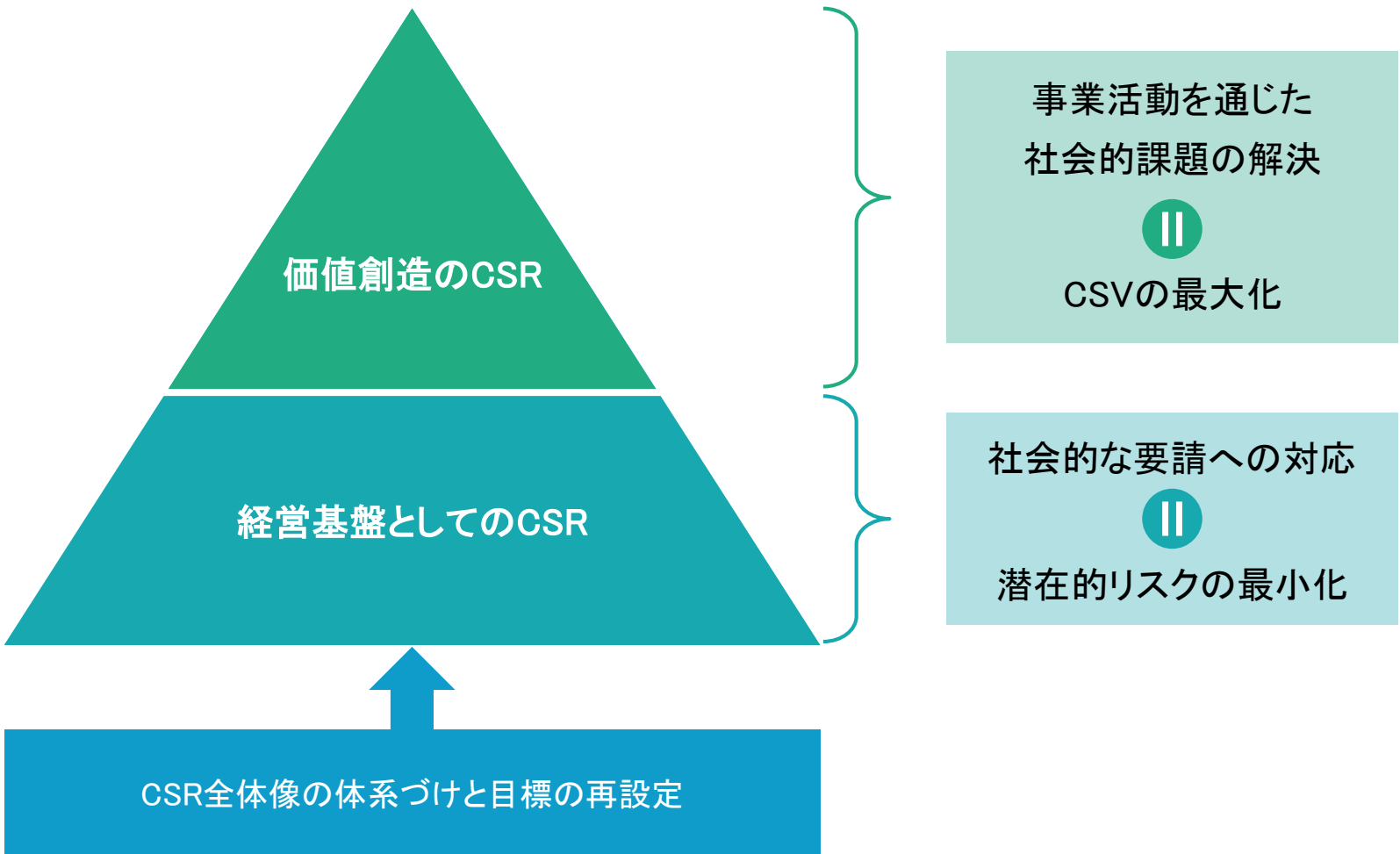
7. 超純水供給事業の主な案件



* 上記は主な契約を示しており、すべての契約を網羅するものではありません。

8. CSR活動の強化

中長期的な企業価値の向上と競争優位性の獲得をめざす



価値創造のCSR

事業活動を通じた
社会的課題の解決



CSVの最大化

経営基盤としてのCSR

社会的な要請への対応



潜在的リスクの最小化

CSR全体像の体系づけと目標の再設定



- U R L ■ <http://ir.kurita.co.jp/>
- M A I L ■ ir@kurita.co.jp

【 将来見通しに関する注記事項 】

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。